
	錦江町立大原小学校 学校だより 令和4年 11月号	
<h1 style="color: red;">おおはら</h1>		<small>学校のホームページには、右のQRコードからお入りください。スマホを横向きにすると、右側にメニューが出てきます。</small>
創立136周年（明治20年創立） 合言葉：にこにこ（笑顔） ぐんぐん（努力・挑戦） ぽかぽか（命）		

気づき・考え・実行する

校長 上原 一 宏

私がこの学校で合言葉の「にこにこ（笑顔）・ぐんぐん（努力・挑戦）・ぽかぽか（命）」と同じくらい大切にしているのがタイトルの「気づき・考え・実行する」です。これは何かということ、大原小学校も加盟している「青少年赤十字」の態度目標です。

少人数の学校のよさは、一人一人の子供に目が行き届くことです。しかしそれは、「言われて動く」「自分自身で関心を持たなくてもやることわかる（決められる）」「自分自身で気づきを考える前に行動を促されたり制限されたりする」のようなマイナスの側面もあります。こうしたことから、子供は「気づき・考える」ことの必要性を感じなくなり、環境や様々な事象に対して不感症になることが懸念されます。子供が環境や様々な事象に関心を持ち、自発的に関わろうとする姿勢を育むことが大切であると考えます。私たち教師も、つい手や口を出しすぎてしまい、子供たちの成長を妨げているのではないかと自戒することもあるので、保護者や地域の皆様も同様のことを経験したことがあると思います。気づきを待つ姿勢や気づきへの仕掛けをすることで、子供たちが自ら気づくことを経験させることによって、自発的に関わろうとする子供を育むことができます。

では、子供たちが気づくためにどのような支援をすればよいのでしょうか。子供が「○○じゃないかなあ？」と聞いてきたとき、たとえそれが正しいと思っても「どうしてそう思ったの？」と問いかけることが大切ようです。そして、返答が来るまで十分に待つことです。そして、「じゃあ、どうすればいいかな？」と考えさせます。考えを聞いたら実行に移させるのです。時間はかかるし面倒くさいですが、この繰り返しで自主性が育ちます。

朝のボランティアにおいても「今日は何をすればいいですか？」ではなく、「日曜日に学校で遊んでいたら校庭のここが○○だったのでここを改善してもいいですか。」と言える児童を育てたいのです。そのためには、いくつか短時間のボランティアに適した課題を用意しておく必要もあるかもしれません。

先日、授業中に緊急放送が流れました。もちろん授業は中断しましたが、そのときある児童が窓を大きく開け、外から聞こえる防災無線に耳を傾けたのです。とても素晴らしい行動でした。今回の放送は、テレビ等をつけていないときでも緊急地震速報が聞こえるかどうかを試すテストでした。幸い大原小学校では聞こえましたが、この放送はけたたましいサイレンの後「○分後、あるいは○秒後に大きな地震がきます。安全な所に身を隠してください。」や「揺れが収まりましたので安全な所に避難してください。」などの放送が流れます。気づいたけれど、考えて実行に移せるかが課題となってきます。体育館の中にいたときはどうすればいいでしょうか？校庭にいたときは？家の中だったら？スーパーの中だったら？寝ているときだったら？いろんなシチュエーションに対応し、その対策を瞬時に考えなければなりません。ちなみに体育館だったらライトが落ちてこない中央付近、校庭だったら建物や樹木から離れた場所がいいです。なぜなら隠れる机もないし、壁が崩落する可能性があるからです。体育館は、天井が崩落する可能性があります。本や手で頭を守って、体勢を低くしましょう。こういうところまで考えが至るといいですね。



オータムフェスティバル



雨の降る中、たくさんの方にお越しいただきましてありがとうございました。3年ぶりの餅の振る舞い、子供たちが育てた野菜やもち米の対面販売、ステージ発表など大いに賑わいました。多くの方のご協力により開催できましたことを心より感謝申し上げます。



地域育む「かごしまの教育」県民週間ありがとうございました！

1・2年「くじらぐも」



3・4年「つり橋わたれ」



5・6年「大原なるほ堂」物語



期間中に開催された学習発表会では、全学年、劇にチャレンジしました。多くの方の参観に、子供たちも張り切って演じることができました。ありがとうございました。

家庭教育学級育「ヨガ」



家庭教育学級では親子で「ヨガ教室」を行いました。呼吸を意識してゆっくりと体をほぐしていきます。体が軽くなって日頃の疲れを癒やすことができました。



町小・中学校音楽会



3年ぶりに開催された町小・中学校音楽会。大原小学校は、「ふじ山」の斉唱と「ミッキーマウスマーチ」の合奏を発表しました。

認知症サポーター養成講座

「南の星座」による劇や認知症患者による講演会等3回にわたって認知症養成講座を受講しました。一人一人の気づきがみんなの生活の支えにつながることを学びました。



「南の星座」による劇

認知症講演会



12月行事

- 4日(土)～10日(金) 校内人権週間
- 7日(水) 持久走大会試走
- 9日(金) 持久走大会, 家庭教育学級, 学校保健委員会・学級PTA
- 10日(土) 土曜授業・心の教育の日
- 17日(土) 錦江町子ども会創作活動大会 PTA門松作り(午後)
- 23日(金) 終業式
- 24日(土)～1月9日(月) 冬休み

オータムフェスティバルの忘れ物(餅米2袋), 傘を預かっております。心あたりの方は, 教頭まで